

令和6年度「社会教育実習・インターンシップ」の受入れについて

1. 内容について

- (1) 国立中央青少年交流の家社会教育実習等カリキュラムを基に、申込機関の方針等を踏まえた上、実習生の要望を取り入れて実習計画を立案する。
- (2) インターンシップにおいても社会教育実習と同様に、利用者の受入対応や研修の支援（以下、「研修支援」という。）、当交流の家が実施する青少年及び青少年教育指導者等の研修（以下、「教育事業」という。）の企画・運営の実習とする。
- (3) 実習内容は、下記、教育事業期間への参加を原則とし、大学等の都合で教育事業期間への参加が困難なときは、日常の研修支援での実習も受け入れる。

記

2. 日程について

- (1) 研修会：教育事業に参加する場合は、参加必須となります。※実習時間に含まれます。
【事業名】「富士のさと ボランティア養成研修」
【期 日】6月8日（土）～9日（日）※1泊2日
【趣 旨】青少年の体験活動を支援するボランティアに求められる知識や技能を習得するとともに、ボランティア活動への意欲を高める機会とします。

- (2) 実践編：希望の事業や期間等を選択し、ご参加ください。

	実習期日・場所	事業名	趣 旨
①	9/14（土）～16（月・祝） 【2泊3日】 交流の家、キャンプ富士	富士のさと イングリッシュキャンプ	英会話を用いた生活や様々な活動をすることで、英語に親しみ、生きた英会話力を身に付けるとともに、国際的な感覚を身に付ける機会とします。
②	9/21（土）～22（日） 【1泊2日】 交流の家 等	小田急電鉄連携事業 「大自然、 富士山麓体験プログラム」	富士山麓トレッキングや野外炊事などの体験活動を通して、雄大な自然に触れたり、親子で協力する大切さを学んだりする機会とします。
③	9/28（土）～29（日） 【1泊2日】 交流の家	ネット依存対策事業 「つながりキャンプ①」 （プレキャンプ）	参加者・保護者それぞれを対象とした対策講座を実施し、不安や悩みをフォローするとともに、家庭におけるネット利用のルールづくりの促進を図ります。
④	10/12（土）～13（日） 【1泊2日】 交流の家	富士のさと 防災・減災教育キャンプ	防災・減災を自分ごととして捉えるとともに、“自助”“共助”“公助”に関して深く考える機会を提供し、参加者自身がコミュニティの中で防災・減災の推進者となることを目指します。
⑤	10/26（土）～27（日） 【1泊2日】 交流の家	ネット依存対策事業 「つながりキャンプ②」 （メインキャンプ）	集団生活を共にしながら、野外活動や創作活動など、多様な体験活動を通して、人や自然とのつながりの大切さを感じられる機会とします。
⑥	12/7（土）～8（日） 【1泊2日】 交流の家	ネット依存対策事業 「つながりキャンプ③」 （フォローアップキャンプ）	医療的な見地から理解を深めるとともに、ネットリテラシー講座を通して、ネットの現状や今後の上手な付き合い方について学びます。

⑦	1/25(土)~26(日) 【1泊2日】 交流の家	生活・自立支援キャンプ 「富士のさと 親子で遊び隊」	普段できない様々な体験活動を通して、子供の自立心を育むとともに、親同士が悩みを共有することで、子育てへの前向きな気持ちを高め、親子の絆を深める機会とします。
⑧	10月~1月	富士のさと おはなし広場と自然遊び塾	御殿場市立図書館と交流の家が連携し、幼稚園・保育園・認定こども園の園児に、読書活動や自然体験活動の楽しさ、大切さを伝えます。

3. 期間及び時間について

- (1) 上記、研修会・実践編から実習生の参加出来る期間を選択し、各大学の必要日数に合わせて実習を行います。
- (2) 研修会では、社会教育施設や体験活動の意義について学ぶ内容が含まれるため、それらを理解した上で、実践編に関わっていただきます。
- (3) 実習は、初日の朝礼から開始し、主に教育事業の打ち合わせや準備・運営に携わります。前日泊も可能ですので、遠方からの実習生はお問い合わせください。なお、実習期間中は宿泊を伴うものとします。
- (4) 1日8時間を原則としますが、教育事業の内容によっては、実習時間の延長があります。大学による実習時間の換算が指定されている場合は、それに従って実習時間を算定します。
- (5) 実習日については、当交流の家職員（企画指導専門職）と打ち合わせを行って決定します。
- (6) 上記日程（実践編）以外で行う、利用者の受入対応や、団体の研修を支援する日常の研修支援での実習についても可能ですので、期日等をお問い合わせください。

4. 指導について

- (1) 指導は当交流の家の全職員があたることを基本とし、主担当は企画指導専門職となります。
- (2) 実習は、講義及び実技を通して、青少年教育に関する知識・技術の基本を習得すること、青少年教育に携わる者としての責任感や社会意識を身に付け、青少年教育施設で働く心構えを涵養することを目標とします。
- (3) 主担当は、実習生が受け身一辺倒とならないように、実習生自らが考え、工夫するよう指導・助言します。

5. 国立中央青少年交流の家社会教育実習等カリキュラム

No.	実習名	ねらい	内容【形態】	必・選
1	青少年教育概論	青少年教育及び青少年教育施設の理念や歴史、役割や課題、また、青少年教育施設職員に求められる資質・能力を理解する。	<input type="checkbox"/> 青少年教育とは【講義】 ・青少年教育の理念と歴史 ・青少年教育の現状と課題	必
			<input type="checkbox"/> 青少年教育施設とは【講義】 ・青少年教育施設の役割と歴史 ・青少年教育施設の現状と課題	必
			<input type="checkbox"/> 青少年教育施設の事業と職員【講義】 ・事業の種類と内容 ・青少年教育施設職員の業務 ・青少年教育施設職員に求められる資質・能力	必
			<input type="checkbox"/> 中央交流の家の運営と事業【講義】 ・中央交流の家の運営方針と事業の重点 ・中央交流の家の事業概要	必
2	研修支援	研修支援の意味と内容を理解するとともに、基本的な技術を習得する。 また、利用者対応を通じて、職業人として求められる基礎的なマナーを身につける。	<input type="checkbox"/> 研修支援とは【講義】 ・研修支援の意味と内容 ・研修支援における指導・支援 ・学校の集団宿泊活動 ・青少年教育施設における生活指導	必
			<input type="checkbox"/> 利用相談・プログラム相談【講義・実習】 ・中央交流の家の施設・設備 ・利用の仕方（利用方法・ルール） ・研修支援におけるプログラム ・プログラム相談の方法	選
			<input type="checkbox"/> 朝のつどい・夕べのつどい【実習】 ・つどいの意義 ・つどいの進行 ・レクリエーション指導	必
			<input type="checkbox"/> オリエンテーション【実習】 ・オリエンテーションの意義 ・オリエンテーションの進行	選
			<input type="checkbox"/> 活動プログラム【実習】 ・野外活動プログラム ・その他の活動プログラム	必
			<input type="checkbox"/> 安全管理【講義・実習】 ・安全管理の意味と内容 ・施設（活動コース）の安全点検 ・応急処置	選
			<input type="checkbox"/> 利用者対応と施設整備【実習】 ・利用者との接し方 ・電話での対応の仕方	必

			・施設の整備	
3	教育事業	青少年及び青少年教育指導者を対象とした教育事業の意味と内容を理解するとともに、企画・運営の基本的な知識・技術を習得する。	□教育事業とは【講義】 ・教育事業の意味と内容 ・教育事業の企画から運営までの手順	必
			□教育事業の企画【講義・実習】 ・企画の立て方 ・広報の方法 ・評価の意味と方法	選
			□教育事業の運営【実習】 ・運営の内容と体制（組織）	選
			□体験活動の指導【講義・実習】 ・目的に応じた指導方法	選
4	その他の事業	青少年教育施設で実施される研修支援や企画事業を効果的に実施するための取り組みについて理解する。	□ボランティア活動【講義】 ・ボランティア活動の意義とボランティアの養成	選
			□連絡協力の促進【講義】 ・連絡協力の促進の意味とネットワーク作り	選
			□調査研究【講義】 ・調査研究の意味と方法	選
5	修了実習	実習の成果を評価するために修了実習を行う。	□つどいの進行【実習】	必
			□体験活動事業の企画【演習】	

《本件担当》

国立中央青少年交流の家

主任企画指導専門職 川名 雄一郎

企画指導専門職 鈴木 俊輔

〒412-0006 静岡県御殿場市中畑 2092-5

【TEL】 0550-89-2020 【FAX】 0550-89-2025

【E-mail】 fujinosato-kss@niye.go.jp